

今日のトピック 米国地方債市場の動向 (2017年4月)

米国債よりも高い利回りが魅力の地方債

ポイント1 米国地方債の魅力

安全性の高さと利回りが魅力

- 米国地方債は、一般財源債とレベニュー債の2種類で構成されています。残高の比率は、一般財源債が約30%、レベニュー債が約70%です。
- 一般財源債は、地方公共団体の課税権（税金）を担保として発行され、発行体が元利金の償還を行います。レベニュー債は、主に地方公共団体の関連施設が行う事業の利用料等が償還財源となります。
- 米国地方債には、非課税債と課税債がありますが、日本のように米国と租税条約を締結している米国外の居住者は、非課税債よりも利回りの高い課税債の金利についても税金が免除されるなどの優遇措置があります。

【米国地方債の発行形態】

	一般財源債	レベニュー債
主な発行体	州・地方団体	州地方関連公社
主な事業	州や自治体が直接運営する事業（裁判所、消防署等）。	空港、上下水道、病院等の事業。
返済原資	発行体が元利償還の全責任を負う。	特定の事業から生じる利用料等の収入等を利払い、償還財源とする。

(注) 上記の表は一般的なものであり、実際の内容は各州政府が決めた法律に準じる。
(出所) 各種資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 比較的良好なパフォーマンス

過去1年半では投資適格社債並み

- 低金利環境が続く中、相対的に高利回りの債券への需要は強く、例えば過去1年半の期間では、ハイールド社債が非常に好調でした。
- 日本人の主要な投資対象となる課税地方債は安定的な動きとなり、投資適格社債並みのリターンでした。
- 参考にブルームバーグ・パークレイズ・インデックス（残存期間5-10年）で見ると、米国債の3月末利回りは2.21%で、課税地方債は3.10%となっています。

(ポイント) 【米国地方債・社債のパフォーマンス】



(注1) データは、2015年9月30日～2017年4月4日。
(注2) 投資適格社債、ハイールド社債指数はBloomberg指数、地方債指数はS&P地方債指数。全て2015年9月末を100として指数化。リターンは課税前のベースで計算。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 米国地方債は安定性が魅力

- 米国では、政権と議会の予算協議などのやり取りを見ている限り、大幅な財政赤字拡大リスクは低減しています。また、インフレが落ち着いていることから、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げは緩やかなペースで行なわれる見通しであり、米国の長期国債利回りの上昇余地は大きくないとみられます。
- このような環境下、債務不履行率が低く国債よりも利回りの高い地方債には、相対的な魅力度があると見込まれます。

ここもチェック! 2017年3月23日 最近の米国の債券市場 (2017年3月) 2017年3月16日 米国の金融政策 (2017年3月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。